

厚生協会だより

2014年1月21日
第 323 号

発行
公益財団法人
宮城厚生協会

〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人：長 澤 清 光



本年もよろしく
お願いいたします

夜明けの加瀬沼

だいじょうぶ

1. 瓦礫の中で ほほえむアルバム
めぐる思い出は 大切な宝
だいじょうぶ だいじょうぶ みんな一緒だ
生きてりや 生きてりや 生きてりやいいんだ
今日より明日がよくなりますように
決してくじけないで 歩いて行こう
来ない朝はない 止まない雨もない
2. 気落ちはしても 心は折れない
生きている限り 希望を持とうよ
いいことだけ いいことだけ 心にとめて
ゆっくり ゆっくり 無理せず行こうよ
今日より明日がよくなりますように
決してくじけないで 歩いて行こう
来ない朝はない 止まない雨もない
3. 長い道のりだけど 未来(あした)を信じて
できる事を考え 支えあいながら
一日 一日 苦しみ乗り越え
いつの日か いつの日か 笑顔になろうよ
今日より明日がよくなりますように
決してくじけないで 歩いて行こう
来ない朝はない 止まない雨もない

もうすぐ東日本大震災発生から3年目を迎えます。上から目線の政府対応は遅々として進まず、復興どころか、まだまだ復旧にも至っていない厳しい現実を示しています。あせらず、あきらめず、でもくじけずという思いを込め、疲れている被災者のみなさんと少しでも寄り添い、共感・共有できるように、そして、一緒に少しずつでも前へ進めればと願います。
(いわね)



年頭のごあいさつ

「たたかいと対応」が 試される時代に突入

宮城厚生協会理事長 水戸部秀利

あけましておめでとうございます。
います。

震災から3回目の新年ですが、重く暗い年明けになりました。

安倍政権を、 国民の総力で 蹴り飛ばす最初の年に

「決められない政治」という巧みな世論操作と小選挙区制のトリックで誕生した安倍政権は、数を力に暴走し右急旋迴へ舵を切りました。「社会保障のため」と消費税増税を押しつけながら社会保障解体、売国・亡国のTPP参加、福島の状態を尻目に原発再稼働、国家安全保障会議と秘密保護法強行、そして靖国神社参拝、辺野古を埋めて新基地を造るための札束攻勢等等など。どれをとっても私たちの願いと相反する政策です。アベノミクスも庶民とは無関係の「金持ちの宴会バブル」であることが明らかになってきました。

今年は午年。すでに馬脚を露した安倍政権を、国民の総力で蹴り飛ばす最初の年にしたいものです。

社会保障制度改革と 協会の新たな事業

今年3月に、ようやく長町病院が新築オープンとなりました。震災後3年間、地域の方々にも職員にも窮屈な思いを強いましたが、8月には有料老人ホーム開所と並んで協会の新たな事業の一步となります。坂総合病院の「救急・教育・連携支援のステーション」増築にも着手します。

一方、今年4月の診療報酬改定は実質マイナス改定が予想され、法人の経営は厳しさを増します。政府は社会保障制度改革の中で2018年を目途に、医療や介護の供給体制の構造転換を打ち出しました。高齢化社会対応と言いつつも医療や介護の国の費用負担削減が大前提であるため、病床削減・在宅押し出しなどの歪んだ構造転換になっていきます。

しかし、2025年をピークに地域の高齢化は加速し、厚生協会のみならず地域の医療・介護の仕組みの転換は必須となります。まさに「たた

かいと対応」が試される時代に突入します。今後計画される泉病院や古川民主病院のリニューアルは、このような情勢と切り結びながら地域での役割を果たす構想にしている必要があります。

被災者とともに命と 暮らしを守る運動強化を

震災から3年になろうとしています。被災者の生業の復旧や生活再建はまだこれからです。復興公営住宅建設と入居は、ようやくはじまったばかりです。

昨年4月から打ち切られた被災者の窓口負担免除は、被災者と私たち民医連も含めた広範な県民の粘り強い運動によって、復活の可能性が出てきました。具体化はこれからです。引き続き被災者とともに命と暮らしを守る運動を強めましょう。

私たちの 「積極的平和主義」は 平和憲法を 世界に広めること

安倍内閣は「積極的平和主義」などというオブラート造語で世論誘導を狙っています。

私たちの「積極的平和主義」は平和憲法を近隣諸国に伝え世界に広めることです。武器を売ったり、他国に軍隊を送ったり戦争をできる国になることでは決してありません。今年は日本の国のあり方を改めて問う年になります。

私は、今年で定年となります。大震災後の難局を乗り越え、公益法人へ移行できたのは、みなさんのお陰です。改めて感謝申し上げます。退職後も嘱託医として、可能な限りお役に立ちたいと思っています。ですのでよろしく願います。



脱原発 ながまちアクション

原発廃止し、 再生可能エネルギー への転換を！

長町病院組織課 平尾 伸二

「全国に広がる 原発反対行動」

一昨年3月、原発の再稼働に反対して東京で始まった

「金曜官邸前抗議行動（略して「キンカン」）。その後全国各地に広がっていききました。宮城でも仙台・大崎で毎週金曜日のデモが始まり、また泉では2012年10月にデモ行進が行われました。

こうした動きに刺激を受け、「長町でも原発再稼働反対デモを」の声が高まり、昨年5月より「脱原発ながまちアクション」として開始しました。仙台の金曜デモに参加する人もいるので、重ならないように、毎月第3水曜日に実施することとしました。



「2013年 5月15日始動」

第1回目は5月15日、約150名が参加。「原発いらない！」「女川原発再稼働反対！」の声を街に響かせました。仙台放送が取材に見え、夜のニュースで放映されました。翌日、何人かから「ニュース見たよ」と声をかけていただきました。その後も毎月実施。職員の参加が少なくなっているものの、毎回50〜70名の方が参加してくれています。



7月には私のフェイスクック友達で京都の方が参加してくれるなど、毎回いろんな方が参加してくれ、大きな励みになっています。その後、塩釜地域でも9月から「金曜デモ」が始まっています。こういう動きが広がるのは、大変うれしいことです。

「未来に危険すぎる『ツケ』残さないように」

安倍政権は原発を「ベースとなる電源」と位置づけ、維持・推進の方向を明確にするエネルギー基本計画を今年早々にも閣議決定しようとしています。

また、東北電力は昨年12月27日、女川原発2号機の再稼働に向け、新規制基準への適合性の審査を原子力規制委員会に申請しました。

原発を再稼働させない運動は、新年早々ま

さに喫緊の課題となつていきます。

未来に生きる人たちに危険すぎる「ツケ」を残すわけにはいきません。すべての原発の稼働が停止している今こそチャンスです。「ただちにすべての原発の廃炉を決定し、再生可能エネルギーへの抜本的転換を」の声を上げていきましょう！



実際の視力の回復と向上、

情勢をみる目を養う事

古川民主病院診療サービス課

課長 長井 敏明



2013年11月に世紀の天体ショーと期待されたアイソン彗星の太陽接近があった。

観察の準備をしていた。書店にはガイドブックコーナーができ、量販店のチラシに天体望遠鏡が載るようになった。時々夜空を見上げ月や星を覗いていた。以前から視力低下が気になっていたが、月が二重に見え星々もはつきり見えない。頭に入る情報の8割は目からと言われている。

視力低下は老眼・近視と考えられるが、目の調整力が原因という記事を読んだことがある。眼筋をほぐすトレーニングで視力回復の可能性があるそうだ。視力回復を目標の一つにしたい。

業務上では、4月に診療報酬改定が行われる。実質はマイナス改定となるようで、さらに消費税増税がダブルパンチとなる。

診療サービス課にとって、診療報酬改定は、改定作業の実務作業と改定内容の理解の二項目を押さえる事が重要である。マイナス改定を最小限にいとめ、いかに収入を増やすかの学習と提案が大きな柱となると受け止めるべきである。

また、消費税増税は、単純に3%引き上げ負担増といかないことでもあり、大きな負担となる。患者さんにとっても生活に直結する増税は大問題である。

さらに、前期高齢者の窓口自己負担増も控えており、受診できない患者さんをなくす事や社会保障制度の充実を求める取り組みが重要である。また、TPPや秘密保護法など国民生活に悪影響を及ぼす内容を理解し、情勢をみる目を養うこ

抱負

いろいろな災いごとに

負けぬようがんばります

泉病院診療サービス課

課長 安達 英博



みなさん、明けましておめでとうございませう。泉病院診療サービス課共々、本年もよろしく願いいたします。

私が泉病院へ異動してもうすぐ1年が経とうとしています。久しく離れていた

請求業務にやっと追いつき？ 泉病院の診療サービス課のみならず、他職種のみなさんに助けられながら業務をこなしてきた昨年でした。まだいろいろわからなくて泣いている最中ですが、その泣きつ面に3月には診療報酬の改定、4月には消費税増税と、仕事も私生活もハチの来襲が予測される年明けとなり、さらに気を引き締めて乗り切ろうと思う次第です。

残念ながら、昨年末には2回反対行動に参加してきた沖縄の辺野古へ基地移転することを沖縄県知事が承認したとのニュースを聞き、たった2回ですが参加した私がかかりましたし、沖縄の方々やその行動に集った方々は、さぞ肩を落としていらっしゃるかと思います。私の見て感じた沖縄の現状は何度か交流集会などで発表させていただきました。救急車さえも横切れない普天間基地の撤去は賛成なのですが、移転先の合意に非常にがっかりした年末でした。

と、気が重くなることを並べたので明るいニュースを書こうとしたところで限度文字数に達したので、今年はそんないろいろな災いごとにも負けぬようがんばります。という決意で締め括ってあいさつとさせていただきます。

とが大切である。

そのためには、実質的な視力の回復だけでなく、広い視野を持つことを心がけたい。

太陽に接近して消滅してしまったアイソン彗星のように期待はずれに終わらないようにしたい。

他職種のみなさんと

協力し合い業務前進させる

坂総合病院診療サービス課

課長 金山 直大



7年半保険請求から離れ、昨夏坂病院配属で診療サービス課に戻りました。しばらく離れていた間に周りの様々な変化に驚くばかりの毎日です。

年始は長男が某家電屋の初売り商品のノートパソコンに目をつけ、朝4時から店頭に並ぶのに付き合いました。県外ナンバーが散見する駐車場を抜け、受け取った順番札は1600番台。新年早々に出鼻を挫かれた正月でした。

今年の抱負は、クローゼットに眠る着られなくなったスーツに再会すること(すなわち痩せること)、見聞を広めること。また、人口の少ない離島に行ってみたいと言う昨年叶えたかった課題も残っています。

今春、診療報酬改定が控えており、診療サービス課では保険請求の病院間の調整が一層増える事が予想されます。経営課題と合わせ課内全員で考え、他職種のみなさんと協力しながら乗り越えられればと考えております。

今年

フットワーク軽く

多職種の要求に直ぐ対応できるように

長町病院診療サービス課

課長 小松 孝博



新病院建設もあと少しで完成というところまできました。ここまで辿り着けたのもひとえに他事業所の方々のご支援・ご協力があったからこそだと思っています。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今年は、春に新病院開院・診療報酬改定と診療サービス課は前半で大きな山場を迎えます。今回の診療報酬改定は、2025年超高齢化社会に備えた段階的な改定になると予想されます。国は入院在院日数の短縮・在宅医療への誘導などで入院ベッド数を削減し、急性期・慢性期で病院を機能分化しようとしています。

これらを踏まえ長町病院として地域でのポジションを明確にし、地域の皆様に必要とされる病院を目指していきたいと思っています。

私個人の今年の目標は、入職以来地道に増やしてきた体重を今年こそは精算したいと考えています。4月から消費税が8%に上がりますが、消費税増税反対の意味も込めて私は体脂肪率を3%下げたいと思います。フットワークが軽くなった分、多職種の要求に直ぐ対応していきたいと思っております。今年も宜しくお願いします。

至福のひととき



長町病院副事務長 佐藤 秀治

1980年代のアナログ全盛期に給与の数か月分でアンプを購入した。純A級増幅器と呼ばれたもので、高校時代から憧れだった。

当時は一昔前の人たちがオーディオを趣味（道楽）とする盛んな頃でもあった。

■ 大震災で全て流失したが

良いもの？ 気にいったもので30年間愛用し続けたが、東日本大震災で全てが流失してしまった。50年の思い出や道具が一瞬で消えてしまった。でも何かやらなければ（何かを救いにしなければ）

と思い、オーディオ雑誌を購入したら真空管アンプの特集だった。いつかはと思っていたが、しかし完成品は高価だし、この際だから組立（キット）で行こうか！

とりあえず6L6GCシングルアンプ組立キットを購入。

??? しかし、みなし仮設住宅のため組立場所、設置場所が無い事に気が付いた。



写真①

（1年半休眠）



写真②

2012年秋、新居が完成し小屋裏（写真①）に隠れ家を作り一応置き場所が完成。

折角なので昔の様に、スピーカーも自作で行こう!! ラックは故長岡鉄男氏設計で行こう!! スピーカーはフルレンジの6.5インチ（ロクハン）、箱はメルクシパイン材で。

仕事から帰り1日15分のはんだ付け作業も同時に進行。

これが現在の手作りシステムだ。（写真②）

アンプに灯を通す？ 真空管の中で電子が飛び交っている。（写真③）

現在も軍用送信管で使われている真空管、ブルーの光を放つ。（写真④）



写真③



写真④

■ 音は？

低音や高音を調整・補強するものは一切ない、ボリュームのみ、小音量でもスケール感のあるのびやかな音。まるで炭酸ジュースの泡がはじけるような音やー！

今でも真空管は製造され続けています。共産圏が多く、主な所ではロシア。今のサンクトペテルブルクに世界最大級の電子管工場があります。スヴェトラナ地方は冷戦時代に世界最大級の出力を誇った送信管（ICBM探知レーダー用）などがあります。オーディオやギターアンプなどに使われているガラス管の真空管は1928年から製造されています。

中でも、Svetlana真空管は設計の良さとスヴェトラナ工場の熟成された生産技術によって、作りが良く、特性のばらつきや変化が少ないため、安定していてアンプ回路の性能を存分に引き出すことが期待できる真空管です。